

西村眞琴

まこと

生物學者、理學博士。

明治十六年二月二十六日長野

縣生れ、

昭和二十一年一月四日没（八三—九五）。廣島高等師範學校

卒。歐米留學後、北海道帝國大學水産専門部教授。のち大阪毎日新聞

社學藝部顧問兼專業部長。俳優西村晃あきの父。

著書「現代ゲヤーリズムの理論と動向」（合著、昭和二十八年十一月十

五日内外社）、「科學隨想」（昭和八年十一月五日中央公論社）、「新

しく觀た滿鮮」（昭和九年四月十日創元社）、「話題の科學」（編著、

昭和十年七月十五日時潮社）、「日本建國の研究」（合著、昭和十一

年十月十一日章華社）等。



新しく觀た滿鮮 西村眞琴著



春の果を
營む鶴
鶴は、鳥の
かたじけなく
満ちたこの鳥の味
をまじりて
しなま靈馬あつひとけり